

## 科目一覧表

本学で開講している科目の一覧（2022年度版）です。  
 「◎」は、各コースの必修科目（必ず取らなければならない科目）です。  
 科目の詳細が載った「シラバス」は、ホームページからご覧いただくことができます。  
 ※一部受講条件のある科目も含まれます。受講年度により、開講科目・開講名が変更となる場合があります。

区分	コース				科目名	概要		
	養護・保健	健康スポーツ	心理・認知リテラシー	人間科学				
講座（デザイン）	◎	◎	◎	◎	プレゼミⅠ（未来デザイン演習Ⅰ）	文献調査、レポート作成、ノートの取り方、プレゼンテーション等、大学の学びの基礎を学ぶ		
	◎	◎	◎	◎	プレゼミⅡ（未来デザイン演習Ⅱ）	グループでの調査・研究活動により、自発的な課題解決の方法を学ぶ		
	◎	◎	◎	◎	日本語コミュニケーション演習（基礎）	漢字、敬語など、日本語の基礎的能力を向上する・新聞記事等を読み、読解力を向上する		
	◎	◎	◎	◎	日本語コミュニケーション演習（応用）	レポート・論文作成に備え、論説文の文章作成能力の向上を図る		
未来をひらく基礎科目					こころの学び方	心理学概論より平易な心理学の入門科目		
			◎		はじめての心理学	心とは何なのかを学ぶ		
	人間を知る					心理学概論	心理学の入門として、科学的心理学の全体像（領域ごとの特徴、歴史、研究方法）を講義形式で学ぶ	
						人間と音楽	人間と音楽のかかわりや、音楽の影響について学ぶ	
						人間と美術	生活の中に美術が関わっていることを理解する	
		◎	◎			人間関係と倫理学	“善い” 生き方・“正しい” 生き方とは何かを考える	
						人間論	地球人口の1/4であるムスリムの生活文化を学び、多文化の共存・共生を可能にする要因を探る	
						文明の歴史	古代エジプトを例に文明の歴史について考える	
		社会を知る					社会生活と法	社会生活に関する民事法と刑事法について基本的な知識を学ぶ。これを元に社会倫理・生命倫理と法が関連する諸問題について学ぶ
						現代社会の構造と問題	社会を理解する基礎を学び、現代社会の諸問題を多様な視点から分析する	
						現代社会のマネジメント	実社会の「なぜ？」を「なるほど！」に変換できることを目指す	
						日本国憲法	日本国憲法を学び、社会の在り方について考える	
						共生文化論	多民族社会ハワイで人々が平和に共生する背景を理解し、人間が対等で平和に共存する方法を探求する	
	健康を考える					文章表現（国語）	文章作成を通して「国語」としての日本語の特徴と日本語を基盤とする文化への理解を深め、同時に言語活動全般におけるリテラシーを向上させる	
						健康へのアプローチ	健康についての基礎的なことを学び、健康についての理解を深める	
						生物と環境	生物学の基礎を学ぶ	
						生命の科学	生物多様性や生命史について学び、生命倫理に関する課題について考える	
						笑い与健康	近年「笑い」が健康に良い効果を与えることが立証されている。「上手に笑う」ことで、対人関係が改善するだけでなく、免疫力が向上し、痛みやストレスの改善などの研究事例を学び、「笑い」を上手に日常生活の中に取り入れ、より良い人間関係や健康を高める方法を修得する。	
						みずほ学	大学の教育活動の理解から卒業に向けた学修像を考える	
						◎ 5科目中1科目選択 （健康スポーツコースは2科目選択）	野外活動・レクリエーション実践（サッカー）	スポーツを楽しみ心身の健全な活動を体験する
							野外活動・レクリエーション実践（バスケットボール）	スポーツを楽しみ心身の健全な活動を体験する
							野外活動・レクリエーション実践（バドミントン）	スポーツを楽しみ心身の健全な活動を体験する
							野外活動・レクリエーション実践（テニス）	スポーツを楽しみ心身の健全な活動を体験する
					野外活動・レクリエーション実践（卓球）		スポーツを楽しみ心身の健全な活動を体験する	
	未来を創る実践力形成科目	コミュニケーション	◎ 2科目中1科目選択			英語コミュニケーション（入門）	旅行の際に使える基本表現を学ぶ	
						英語コミュニケーション（初級会話）	会話力の向上を目指す	
					英語コミュニケーション（中級会話）	様々な状況で必要な英語力を習得する		
					英語コミュニケーション（上級会話）	世界に通用するコミュニケーションを学ぶ		
					中国語入門	中国語の発音、文字、文の基礎を学ぶ		
					韓国語入門	韓国語の発音、文字、文法を学ぶ		
リテラシー		◎	◎	◎	◎	パソコン演習（基礎）	大学の授業に必要なWord, Excel, PowerPointの利用法を学ぶ	
		◎	◎	◎	◎	パソコン演習（応用）	P検3級資格取得を通し、卒業後も通用するパソコンの利用技術を習得する	
		◎	◎	◎	◎	インターネット入門	学内ネットサービスの使い方を学ぶ・インターネットの危険と正しい利用法を学ぶ	
						データサイエンス入門	AIを含めたデータの利活用の有用性を理解し、活用のための基礎的な能力と心得を身につける	
		◎	◎	◎	◎	キャリアサポート	SPIの非言語的分野等、就職試験や採用試験に対応できる数学的素養を身につける	
		◎	◎	◎	◎	就職のための戦略Ⅰ	自己理解・仕事理解を進め、自己の職業観・欲求等を明確化し、職業選択行動の動機付けを高める	
デザイン					就職のための戦略Ⅱ	一般的な就職活動で求められる基礎的な考え方、態度、能力を身につける		
	◎	◎	◎	◎	インターンシップⅠ（事前・事後指導を含む）	企業、官公庁、学校等で就業体験をすることで学習意欲と自己理解を向上させる		
				◎	インターンシップⅡ（事前・事後指導を含む）	修行体験を通じて、キャリア意識と学習意欲を高め、学生の行動を変え社会人基礎力の向上を図る		

区分	コース				科目名	概要
	養護・保健	健康スポーツ	心理・カウンセリング	人間科学		
共通専門基礎領域	◎	◎	◎	◎	心身健康論	健康な生活を送るための心身の健康に関する最新の知識を理解する
	◎	◎	◎	◎	行動科学概論	行動や心をそれぞれの領域で行動や心をどのようにとらえてきたかを理解する
				◎	未来デザイン演習Ⅲ	プレゼミⅡで学んだ内容を発展させ、コース毎のゼミを行う
				◎	未来デザイン演習Ⅳ	未来デザイン演習Ⅲで学んだ内容を発展させ、コース毎のゼミを行う
	◎	◎			精神保健Ⅰ	心の発達と精神疾患を中心に心の健康について学ぶ
					精神保健Ⅱ	いじめ、不登校、自死など家庭、学校、職場など現代社会の心の問題から心の健康を学修する
	◎				救急処置法	救急蘇生法の技術を習得しその原因となる突然死に関連した原因・予防について学ぶ
	◎				公衆衛生学(疫学を含む。)	住民の疾病予防や健康の維持・増進を目指すことを目的として、わが国の健康を支える法律や医療システムを理解する
					健康・医療心理学	幅広い年代のメンタルヘルス問題、ライフスタイルの改善等、心身の健康に関する心理学を学ぶ
					教育原論	教職課程科目・教育に関する基礎教養を身に付ける
					教育方法論	教職課程科目・教育方法論に関する教養を身に付ける
					教育相談(カウンセリングを含む。)	教育相談に関する知識を身に付ける。学校現場での相談の在り方について学ぶ
				◎	社会調査法	社会現象に関わるデータの収集方法や分析の仕方を学び、社会を科学的にとらえる力を養う
	専門科目					レクリエーション概論・実践
◎		◎			解剖・生理学(人体の構造と機能及び疾病Ⅰ)	人の健康・保健について考える上で土台となる人体の構造と機能について学ぶ
◎					病気の成り立ち(人体の構造と機能及び疾病Ⅱ)	疾患の内因と外因、予防法や治療法を学び、多様な健康社会についても学ぶ
◎					栄養学入門(食品学を含む。)	生きることと食品、栄養と健康の関係について基礎的なことを学ぶ
					学校保健	学校保健の全体像を理解し教員(養護教諭)として組織的にどう関わっていくとよいか考える
					野外活動基礎実習	野外で行うレクリエーションの要素を含んだゲームを体験・考察すると同時にキャンプ活動の基礎的技術を学び、総括としてこれらを組み合わせたキャンプ実習を行う
					健康栄養学	3大栄養素やビタミン・ミネラルと健康の関係を健康問題を取り上げながら基礎的な理解を深める
					ライフステージと病気予防の栄養学	ライフステージにおける食生活の課題やQOL向上のための食生活について学ぶ
					健康管理学概論	地域保健、学校保健、産業保健における健康推進対策について理解する
					生活習慣病論	生活習慣病の発症要因、各疾患について学ぶ
◎					青少年期発達支援論	青少年期の心身の発育発達における健康課題を理解し、望ましい健康行動変容を目指す
					栄養診断演習	自分や家族の食生活を適切に改善するための知識と方法を学ぶ
					ヘルスアセスメント	養護教諭が教育の場において身体的な側面を評価・査定していく方法とその根拠について学ぶ
					薬理学概論	薬と体とのやりとりが薬の効果や副作用と密接にかかわっていることを理解する
					養護概説	概念の沿革、職務の概要を知り、学校における養護活動の実際を知識的に理解する
					健康相談・健康相談活動	疾病異常の知識をベースにした養護教諭ならではの健康相談のために事例を知り理論と実際を学ぶ
◎					看護学概論	学校における養護活動の場面で必要な基礎的な看護の知識を学ぶ
					基礎看護方法論	教員採用試験に関する論作文及び面接技法の教養の応用をはかる
					学校救急処置(臨床実習を含む。)	学校現場における救急処置の知識を深め技術の習熟度を高める、臨床実習を含む
					養護活動実習	学校保健管理活動、学校救急処置活動の知識と技術について学ぶ
					健康教育・保健室経営演習	養護実習や卒後の養護実践をイメージしながら養護教諭の役割について具体的な場面での対応を学び実践力を育成する
		◎8科目中4科目選択			器械運動	各種目の基本を学び、指導方法を身につける
					武道Ⅰ(剣道)	各種目の基本を学び、指導方法を身につける
					武道Ⅱ(柔道の礼法・受け身・形・技の攻防を習得する)	安全に柔道の礼法・受け身・形・技の攻防を習得する
					体育実技(水泳)	各種目の基本を学び、指導方法を身につける
					体育実技(ダンス)	各種目の基本を学び、指導方法を身につける
					体育実技(球技Ⅰ)	各種目の基本を学び、指導方法を身につける
					体育実技(陸上)	各種目の基本を学び、指導方法を身につける
					体育実技(球技Ⅱ)	各種目の基本を学び、指導方法を身につける
					運動学(運動方法学を含む。)	身体活動の仕組みを理解し、身体活動時のキズの知識を身につける
					スポーツ社会学	スポーツが社会に伝えようとしている社会的価値観や社会学の考え方を学ぶ
					スポーツマネジメント	スポーツマネジメントに求められる「人材」「物財」「財源」、「する」「みる」「支える」「知る」の視点を通してスポーツマネジメントの基礎知識を学ぶ
					スポーツ指導実践	疾病の予防や改善、より健康でいつまでも活動的に生活するための安全で効果的な運動の理論と方法を科学的根拠に基づいて学ぶ
					スポーツ心理学	スポーツ心理学の基本的な理論を学習し、それがどのような技法で持って実践場面で使用されているのかを理解する
	◎			運動生理学	運動中の筋や呼吸循環系の動きなど、身体運動に関連するからだのしくみを学ぶ	
	◎			健康スポーツ医学(運動療法を含む。)	健康づくり、老化防止のための運動や糖尿病、高血圧などの生活習慣病予防、治療のための運動の行い方および運動障害と予防について学ぶ	
	◎			体育原理	スポーツの文化・原理の構造を外国の事例を通して学び、現代社会におけるスポーツの存在自由を考える	
				運動生理学演習	呼吸、循環、筋活動等の生理現象を実際に把握するため、運動中の人体の生理学的応答を測定する	
				トレーニング・フィットネス論	トレーニングの原則を理解し、様々な年代、基礎体力、健康状態や性差に対応したトレーニング理論を学習する	
				障害者スポーツ	障害者にとってのスポーツの意義について学び、介護予防のための運動を理解し、運動プログラムを作成できることを身に付ける	
				健康運動指導論	健康運動指導士資格取得をめざすために安全で効果的な運動プログラム作成に必要な知識を修得する	

区分	コース				科目名	概要
	養護・保健	健康スポーツ	心理・カウンセリング	人間科学		
心理学領域			◎		心理学統計法Ⅰ	心理学統計法のうち推測統計について、その基礎的な考え方と分析の手順、結果の表し方を学ぶ
					心理学統計法Ⅱ	心理学統計法のうち多変量解析について、その基礎的な考え方と分析の手順、結果の示し方を学ぶ
			◎		心理学研究法	実証科学としての心理学研究の考え方、研究方法、研究の流れ、研究倫理を講義形式で学ぶ
			◎		発達心理学	乳幼児から高齢者までの心の発達に関する研究の流れと規定因、定型発達と非定型発達について学ぶ（教職と合同開講）
			◎		臨床心理学概論	臨床心理学全般の入門として、臨床心理学の歴史と代表的な理論および心理療法を学ぶ
			◎		比較心理学	ヒトを含め現存する様々な動物種の行動を調べ、種間比較を通して心理現象の共通性と多様性を学ぶ
					青年心理学	人の一生のうち、青年期の心理的特徴、青年期における精神的発達の様相と理論を学ぶ（教職と合同開講）
					障害者・障害児心理学	身体障害、知的障害、精神障害などの障害を抱えながら生活をしている人々の心理・行動面の特徴を学ぶ
					福祉心理学	職業としての福祉現場における被支援者の心理的特性、支援者のメンタルヘルスや燃え尽き・共依存等について学ぶ
					教育・学校心理学	学習・教育に関する心理学的理論、学校現場における心理学を学ぶ（現在は教職の教育心理学と合同開講）
			◎		心理学実験Ⅰ	心理学の研究法のうち、実験を中心に実際の実施、統計的分析をレポート作成を通して学ぶ
					心理学実験Ⅱ	心理学の研究法のうち、実験、観察、調査を取り上げ、実際の実施、統計的分析をレポート作成を通して学ぶ
			◎		知覚・認知心理学	知覚と認知に関する現象・理論から、安全性・快適性、障害や加齢に起因する感覚機能の支援まで幅広く学ぶ
					学習・言語心理学	人を含む生物が経験により行動変容することに関する理論、言語習得や言語情報処理に関する理論を学ぶ
			◎		感情・人格心理学	感情に関する諸理論、感情の測定、感情喚起の生起メカニズム、人格に関する諸理論、人格の測定、人格障害等を学ぶ
					神経・生理心理学	知覚と認知に関する現象・理論から、安全性・快適性、障害や加齢に起因する感覚機能の支援まで幅広く学ぶ
					心理的アセスメント	心理的アセスメントの意義と理論、代表的な検査と実施方法や結果の解釈、記録および報告の方法を講義形式で学ぶ
			◎		社会・集団・家族心理学	個人に対する社会的要因の影響、集団内の個人間および個人と集団の関係、社会的集団などに関する心理学的理論を学ぶ
					心理学的支援法	対人支援としての心理学的支援の理論と技法、カウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界、心の健康教育等について学ぶ
					産業・組織心理学	キャリアの発達と形成、人事、安全管理、職場のストレスに応じた心理的な支援など、組織で働く人々の心理や行動を学ぶ
					精神疾患とその治療	代表的な精神疾患の成因、症状、治療法について学ぶ
					司法・犯罪心理学	「司法・犯罪心理学」の定義と領域、研究と実務（具体例を含む）、犯罪・防犯に関する心理学を幅広い視点で学ぶ
					心理データ解析演習	推測統計に関するデータ解析をexcelベースの統計ソフトを使用して行い、結果をまとめる方法を学ぶ
					公認心理師の職責	公認心理師資格の概要、役割、法的義務、倫理、責務を理解し、実践に不可欠な知識と視点、考える力を養う
					関係行政論	保健医療、教育、福祉、司法・犯罪、産業・労働等、公認心理師が活動することが想定される主要分野に係る関係法規や制度を学ぶ
					心理学演習	ロールプレイを通して心理に関する支援を要する者等に対するコミュニケーション等に関する基本的な知識および技術を習得する
					心理学実習	公認心理師が携わる可能性がある対人支援現場を見学し、事前事後指導と併せて公認心理師の仕事内容への理解を深める
					心理学実験演習Ⅰ	図書や論文の精読を通して、自ら興味を持った内容を資料にまとめ発表し、グループ内で建設的に議論する
					心理学実験演習Ⅱ	自ら興味を持ったテーマに基づき、文献レビューを行ったり、実際にデータを収集して卒業論文にまとめたりする
				◎	人間科学研究法Ⅰ・Ⅱ	健康を主要なキーワードのひとつとして人間科学に関する知識・理解を深め、各自の研究テーマに基づく研究を進めることで、4年次に成果物を完成させるための準備をする
				◎	人間科学演習Ⅰ・Ⅱ	健康を主要なキーワードのひとつとして人間科学をテーマに卒業論文、研究記録、制作物+制作記録のいずれかの成果物を執筆・制作し、4年間の活動・学習・研究の集大成とする
				◎	人間科学研究	研究成果をまとめ、一つの成果物として仕上げる
					卒業論文	研究成果をまとめ、一つの成果物として仕上げる
教職に関する科目					教育職入門	教職課程科目・教育職に関する基礎教養を身に付ける
					教育史	教職課程科目・教育史に関する教養を身に付ける
					教育行政	教職課程科目・教育行政に関する基礎教養を身に付ける
					教育心理学	教職課程科目・学習・教育に関する心理学的理論、学校現場における心理学を学ぶ
					特別支援教育概論	教職課程科目・特別支援教育に関する基礎教養を身に付ける
					教育課程論	教職課程科目・教育課程に関する教養を身に付ける
					保健体育科教育法Ⅰ・Ⅱ	教職課程科目・保健体育科免許にかかわる理解を深め、教育現場で活動できる実践力・授業設計能力を身に付ける
					保健体育科教育法Ⅲ・Ⅳ	教職課程科目・保健体育科免許にかかわる専門的理論を理解し、教科指導力を向上させる
					保健科教育法Ⅰ・Ⅱ	教職課程科目・保健科免許にかかわる理解を深め、教育現場で活動できる実践力・授業設計能力を身に付ける
					保健科教育法Ⅲ・Ⅳ	教職課程科目・保健科免許にかかわる専門的理論を理解し、教科指導力を向上させる
					道徳教育の理論と実践	教職課程科目・道徳教育に関する教養および教育現場における実践力を身に付ける
					特別活動及び総合的な学習の指導法	教職課程科目・特別活動及び総合的な学習に関する教養および実践力を身に付ける
					道徳、総合的な学習の時間及び特別活動の理論と実践	教職課程科目
	教職に関する科目					生徒指導の理論と実践
					進路指導の理論と実践	教職課程科目・進路指導に関する教養を身に付ける
					教職実践演習(中・高)	教職課程科目・中学校及び高校の教員としての実践力を向上させる
					教職実践演習(養護教諭)	教職課程科目・養護教諭としての実践力を向上させる
					教育実習事前・事後指導	教職課程科目・教育実習および養護実習に関する事前指導・教育実習および養護実習に関する事後指導
					養護実習事前・事後指導	教職課程科目・教育実習および養護実習に関する事前指導・教育実習および養護実習に関する事後指導
教職関連科目					教育実習Ⅰ・Ⅱ	教職課程科目・教育実習
					養護実習	教職課程科目・養護実習
					教職教養Ⅰ	教職に関する知識の実践的活用を探る
					教職教養Ⅱ	教職に関する知識の実践的活用をはかる
				教職論文・面談技法Ⅰ	教員採用試験に関する論作文及び面談技法の基礎力を身につける	
				教職論文・面談技法Ⅱ	教員採用試験に関する論作文及び面談技法の教養の応用をはかる	